

長崎県知事 様

記入例

令和 8 年 7 月 27 日

7 月 1 日以降の提出日を記入ください

令和8年度長崎県私立高等学校等奨学給付金支給申請書

次の5点すべてを確認の上、すべての口に印を付けてください。※全員記入

- ☒ この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- ☒ この申請書は、**※すべて確認のうえ、必ずレ点を記入ください**を即時返還します。
- ☒ 私は長崎県内に住所を有する者です。
- ☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。
- ☐ 私が支給を受ける高校生等奨学給付金に係る交付申請、交付請求等の事務、及び給付金を受領のうえ授業料以外の学校徴収金等に充てることについて、学校設置者(学校長)に委任することを了承します。※対象となる生徒が長崎県外の学校に通われている場合はチェック不要です

申請日時点の住所を記入ください

長崎県私立高等学校等奨学給付金支給要綱第5条の規定により奨学給付金の支給を申請します。

【申請者(保護者等)について】※全員記入

申請者住所 (保護者等住所)	〒 852 - 8570 長崎市尾上町3-1	ふりがな	ながさき はなこ
電話(昼間連絡先)	090 - 1234 - 5678	申請者氏名 (保護者等氏名)	長崎 花子
生徒との関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である母親・未成年後見人である父親・本人・その他() ※親権者には、親権者のほか高校生		

日本国籍以外に○をした方は、3枚目の
【3 在留資格・期間の確認について】
も記入ください

【対象となる生徒について】※全員記入

ふりがな	ながさき いちろう		生年月日	昭和 平成	20 年 5 月 1 日
生徒氏名	長崎 一郎				
生徒の国籍	日本国籍 ・日本国籍以外⇒【3 在留資格・期間の確認について】も記入				
在学している学校	学校の名称	○ ○ 高等学校 在学期間は入学時～提出日を記入ください			
	学校の種類・課程・学科	高等学校(全日制)			
	学校の所在地	○ ○ 都道府県 ○ ○ 市区町村 ○ ○ 町1-1			
	学校設置者の名称	学校法人 ○ ○			
在学期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~		令和 8 年 7 月 27 日		在学中の給付金受給回数
	※右上の申請日を記入				なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ ☒ □ □ □
過去の高等学校等における在学期間(該当する場合必ず記入)	学校名(過去)	立	年 月 日 ~ 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中の給付金受給回数
					なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □
	学校名(過去)	立	年 月 日 ~ 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中の給付金受給回数
					なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □

【1 保護者等の収入の状況について】

を付

記入例

(1) 生活保護受給証明書を提出します。

レ点をつけた方は(2)の下部にある区分表において「生活保護受給世帯」の該当する課程に○を記入ください

☐ 生業扶助(高等学校等就学)

(2) 次の者の個人番号カードの写し等を提出します。**※以下、該当する場合は【2】も必ず確認してください**

※親権者には、親権者のほか高校生等が成人年齢に達する日以前に親権者であった者を含みます。

① ☒ 親権者(両親)2名分

② 親権者1名分

☐ ア 離婚、死別等

☐ イ 親権者が存在
個人番号カード

③ ☐ 未成年後見人()名

親権者が存在せず、未
る場合は、全員分)※未
こととされている者であ

④ ☐ 生徒の生計をその収

親権者又は未成年後見人が存在しない場合、成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等

⑤ ☐ 生徒本人

親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者が存在している場合 等

①～⑤の該当する項目にレ点を記入し、
下記の区分表において、該当する区分に
○を記入ください
**※区分の確認方法は、別紙「対象要件
確認シート」をご確認ください**

保護者等の氏名、続柄と、1月1日現在の
住所を記入ください

・個人番号カードの写し等を添付する者(専攻科の場合は生計維持者)の氏名及び生徒等との続柄

氏名	生徒等との続柄
長崎 花子	母

氏名	生徒等との続柄
長崎 太郎	父

上記保護者等(専攻科の場合は生計維持者)の**その年の1月1日現在の市区町村までの住所**

長崎	都道 府県	長崎	市区 町村
----	----------	----	----------

長崎	都道 府県	長崎	市区 町村
----	----------	----	----------

【重要】別紙「対象要件確認シート」の結果に基づき、該当する区分に○を記入してください。 **必須項目**

課程	全日制	通信制・定時制	専攻科
住民税所得割合算額等			
生活保護受給世帯			
0円(非課税世帯)			
105,500円未満世帯	○		
182,500円未満世帯			
264,500円未満かつ多子世帯			

※県が行う税情報の照会によって、対象となる区分が変更する可能性があります。

※【1】(2)に該当する方 **必須項目**

【2 生業扶助の受給の有無について】(該当する場合、□にレ印を付けてください。)

☒ **対象となる生徒は、認定基準日において、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。**

【3 高校生等の国籍・在留資格・在留期間等の確認について】

生徒氏名:

記入例

(【対象となる生徒について】「生徒の国籍」で「日本国以外」を選択した場合は、⑤～⑦のいずれかの該当する口にレ印を付けてください。
また、必要事項を記入してください。)

(1) 高校生等本人の国籍及び在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。	
① ☐ 特別永住者	1 枚目の 【対象となる生徒について】→ 生徒の国籍 の欄で、 <u>日本国籍以外</u> に○をした方は 該当する箇所の記入と、必要書類を提出ください ※用紙右上の生徒氏名も漏れなく記入ください
② ☐ 永住者	
③ ☐ 日本人の国籍を有する者	
④ ☐ 永住者の国籍を有する者	
⑤ ☐ 定住者	
⑥ ☐ 家族滞在	
⑦ ☐ 上記以外 (留学等)	

(生徒の在留資格・在留期間等を確認するため、次の①～④のいずれかの口にレ印を付けてください。)

(2) 高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。	
① ☐	「住民票の写し(市町村の発行したもの。原本。コピー不可。)」を添付します。 ※国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの
② ☐	「特別永住者証明書の写し(コピー)」を添付します。
③ ☐	「在留カードの写し(コピー)」を添付します。
④ ☐	以下に該当するため、①～③のいずれの書類も添付しません。
以下すべての該当	かつ 以下のいずれかに該当
- 令和8年3月31日以前から引き続き在学している者 - 国籍が「日本国以外」 「生活保護受給世帯」又は「令和8年度の住民税が非課税である世帯」	- 在留資格が「定住者」で、日本国に永住する意思がない場合 - 在留資格が「家族滞在」で、日本国で就労する意思がない場合 - 在留資格が「家族滞在」で、日本国の小学校及び中学校を卒業していない場合

(在留資格が「家族滞在」であって、下記のすべてに該当する場合は、⑤～⑦の口にレ印を付けてください。) ※⑦は専攻科のみ

【3】(1)⑥で「日本国の小学校及び中学校を卒業した」にレ印を付けた 【3】(1)⑥で「日本国の高等学校等を卒業した」にレ印を付けた(専攻科のみ) 【3】(1)⑥で「日本国で就労する意思がある」にレ印を付けた	
⑤ ☐	「日本国の小学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。
⑥ ☐	「日本国の中学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。
⑦ ☐	「日本国の高等学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。(専攻科のみ)

記入上の注意

【対象となる生徒について】の欄は、次によって記入してください。

- イ 「高等学校等」とは、国公立の高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校（第1学年から第3学年まで）、専修学校及び各種学校のうち高等学校の課程に類する課程を置くものとして文部科学省令で定めるものをいいます。
- ロ 「学校の種類・課程・学科」の欄には、「①高等学校（全日制）」、「②高等学校（定時制）」、「③高等学校（通信制）」、「④高等学校（専攻科）」、「⑤中等教育学校（後期課程）」、「⑥中等教育学校（専攻科）」、「⑦高等専門学校（1～3学年）」、「⑧専修学校（高等課程）昼間学科」、「⑨専修学校（一般課程）昼間学科」、「⑩専修学校（高等課程）夜間等学科」、「⑪専修学校（一般課程）夜間等学科」、「⑫専修学校（高等課程）通信制学科」、「⑬専修学校（一般課程）通信制学科」、「⑭各種学校（外国人学校）」、「⑮各種学校（その他）」の別を記入すること。

【1 保護者等の収入の状況について】の欄は、次によって記入してください。

- イ 保護者とは、親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいい、次の①～③は除きます。
 - ①法人である未成年後見人
 - ②民法第857条の2第2項に規定する財産に関する権限のみを行使すべきこととされた未成年後見人
 - ③その他生徒の就学に要する経費の負担を求めることが困難と認められる保護者
- ロ (1)に該当する場合は、基準日現在の生活保護受給証明書（生業扶助の受給の記載があるもの）を提出してください。
- ハ (2)②に該当するときは、必ず「親権者」全員の状況を確認の上、記入してください。
「家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の個人番号カードの写し等を提出できない場合」とは、例えば、ドメスティックバイオレンス、養育放棄等の事情が存在する場合は該当します。
- ニ (2)④又は⑤に該当するときは、生徒本人又は主として生徒の生計をその収入により維持している者（医療保険各法（注）における扶養者等）の所得に関する書類を添付してください。また、主として生徒の生計をその収入により維持している者がいるかどうかについて確認できる書類（扶養誓約書）を添付してください。

（注）医療保険各法とは、健康保険法、船員保険法、国民健康保険法、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法又は私立学校教職員共済法をいう。

留意事項

- イ 過去に国公立を問わず高等学校等（修業年限が3年未満のものを除く。）を卒業し又は修了したことがある場合には、奨学給付金の受給資格はありません。
- ロ 2校以上の学校に在学している場合は、いずれか1校を選んで申請をしてください。
- ハ 「児童福祉法による児童入所施設措置費等国庫負担金について（令和5年5月10日こ支家第47号）」による措置費等の支弁対象となる高校生等であって、見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く。）が措置されている場合は、補助対象外となります。
- ニ 不正に長崎県私立高等学校等奨学給付金を受給した場合は、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の規定に基づき、刑罰が科されることがあります。

【申請者氏名】

※県外学校申請者のみ記入

申請者氏名	生徒との続柄
長崎 花子	母

生徒氏名
長崎 一郎

【口座振込先について】※長崎県内の私立高等学校に在籍している場合は記入不要

口座振込先	○ ○	銀行 信金 信組 農協	① 普通 2 当座	口座番号							ふりがな 口座名義人	
	△ △	支店 出張所 支所		1	2	3	4	5	6	7	ながさき	はなこ
										姓 長崎	名 花子	

① 申請者本人の口座を記入してください。

② 通帳の写し（表紙を1ページ開いて、金融機関名、支店名、口座の種類、口座番号、口座名義が記載されているページのコピー）を添付してください。

通帳の写し のりしろ

通帳の写し（表紙を1ページ開いて、金融機関名、支店名、口座の種類、口座番号、口座名義が記載されているページのコピーを添付